

平成20年度夢づくり協働推進事業の実施状況 4

事業名

備中地域の広域観光コースの造成

事業の概要

管内の観光関係団体、商工関係団体、NPO、企業、大学、市町、県民局で組織する「備中地域広域観光振興協議会」を推進主体として、備中地域の歴史、文化、伝統等の文化遺産や様々な地域資源を掘り起こし、備中地域固有のストーリー性を持った学習・体験型、交流型の広域観光モデルコース「鉄の径」及び「酒蔵めぐり」を造成し、商品化を進める。

協働の主体、役割分担

協働の主体	役割分担
備中地域広域観光振興協議会	広域観光モデルコース「鉄の径」及び「酒蔵めぐり」の企画、ガイドブックの企画・作製
水辺のユニオン	広域観光モデルコース「酒蔵めぐり」の企画 歴史・文化シンポジウム「備中杜氏今昔物語」の開催
(株) 備北ツーリスト	「鉄の径」ツアーの企画・運行
山陽新聞社、山陽新聞事業社	「酒蔵めぐり」モニターツアーの受託・実施
県民局（協働推進室）	ツアー企画・実施の支援・協力 ガイドブックの企画・作製の支援・協力 歴史・文化シンポジウムの企画・開催支援

実施状況

- 1 岡山・備中「鉄の径」ツアーの開催
 - (1) 「鉄の径」古代編（日帰りコース）
 - ①開催日：11月19日（水）
 - ①コース：吉備津神社・鬼ノ城（温羅伝説の舞台）、井山宝福寺（紅葉見学）
星の郷青空市（野菜、特産品の購入）中世夢が原（備中神楽）
 - ③参加者：18人（男性13人、女性：5人、県内：16人、県外：2人）
（50歳代～60歳代：50%）

岡山・備中 「鉄の径」 ツアー

岡山県の三大河川の一つである、高梁川流域に広がる備中地域。その備中地域では、古代百濟の遺跡・日本書紀の伝説から、中世・現在までのたたら製鉄、水動ポンプアートでの高梁製鉄とつながる製鉄の歴史、また、「鉄」を活用した山田方谷なるの僧人や、鉄やその関連品を中心として築かれた文化など、「鉄」を通るさまざまな物語が織り広げられてきました。あなたも備中地域の「鉄」の歴史に触れてみませんか。

A コース 「鉄の径」古代編 日帰り

「桃太郎(温羅)伝説」は鉄をめぐる争いだった!?

11月19日(水)
集合場所/JR倉敷駅北口
定員/25人
参加費/7,500円

B コース 「鉄の径」現代編 1泊2日

現代の鉄づくりの
巨大なスケールを体験する

12月9日(火)~10日(水)
集合場所/JR倉敷駅北口
定員/25人
参加費/22,000円

行程 A コース 「鉄の径」古代編 日帰り 11月19日(水)

8:00	JR倉敷駅 発	
9:00~12:00	吉備津神社 鬼ノ城 「桃太郎(温羅)伝説」の舞台をご案内します。	
12:30~13:30	井山宝福寺 湯豆腐料理と紅葉をお楽しみください。	
14:30~17:00	中世夢か原、星の郷青空市 備中神楽の見学と新鮮野菜や特産品のお買い物	
18:15	JR倉敷駅 着	

行程 B コース 「鉄の径」現代編 1泊2日 12月9日(火)~10日(水)

8:00	JR倉敷駅 発	
9:30~11:00	JFEミネラル 石灰石採掘場の見学 昼食	
13:00~14:30	新成羽川ダム 水力発電の仕組み、ダムの見学	
15:00~17:00	吹屋ふるさと村 ベンガラの町並みを散策 ラ・フォーレ吹屋(宿泊) 夕食後、備中神楽、吹屋小学校のライトアップをお楽しみください。	
8:30	ラ・フォーレ吹屋 発	
9:00~9:30	JAあしん広場 新鮮野菜や特産品のお買い物	
11:00~13:45	JFEスチール 製鉄の工場見学、昼食	
14:00~16:00	三菱自動車 自動車の製造工程の見学	
17:00	JR倉敷駅 着	

●お申し込み先 ビホクツーリスト(株) (本社所在地) 岡山県朝倉郡新見市3-279
高梁市旭町1308-3
TEL.0866-22-8778 FAX.0866-22-8002

●お申し込み方法 1週間前までに電話又はFAXでお申し込みください。

●お支払い方法 申込みの際に旅行予約書をお渡しますので、講習の都度からお振込みください。

●企画 備中地域広域観光振興協議会
●旅行主催 岡山県朝倉郡新見市(〒719-0001) 備北バス(株)

岡山・備中「鉄の径」ツアー募集チラシ



「鉄の径」古代編 (日帰りコース)



「鉄の径」現代編 (1泊2日コース)



2 広域観光モデルコース「酒蔵めぐり」モニターツアーの開催

(1) 「かるやか」コース (日帰り)

①開催日：12月13日(土)

③コース：酒蔵見学(丸本酒造)、JA岡山西直売所、日本酒講座(西爽亭)
玉島円通寺散策、酒蔵コンサート(菊池酒造)

③参加者：27人(男性：14人、女性：13人、県内：26人、県外：1人)
(50歳代～60歳代：78%)

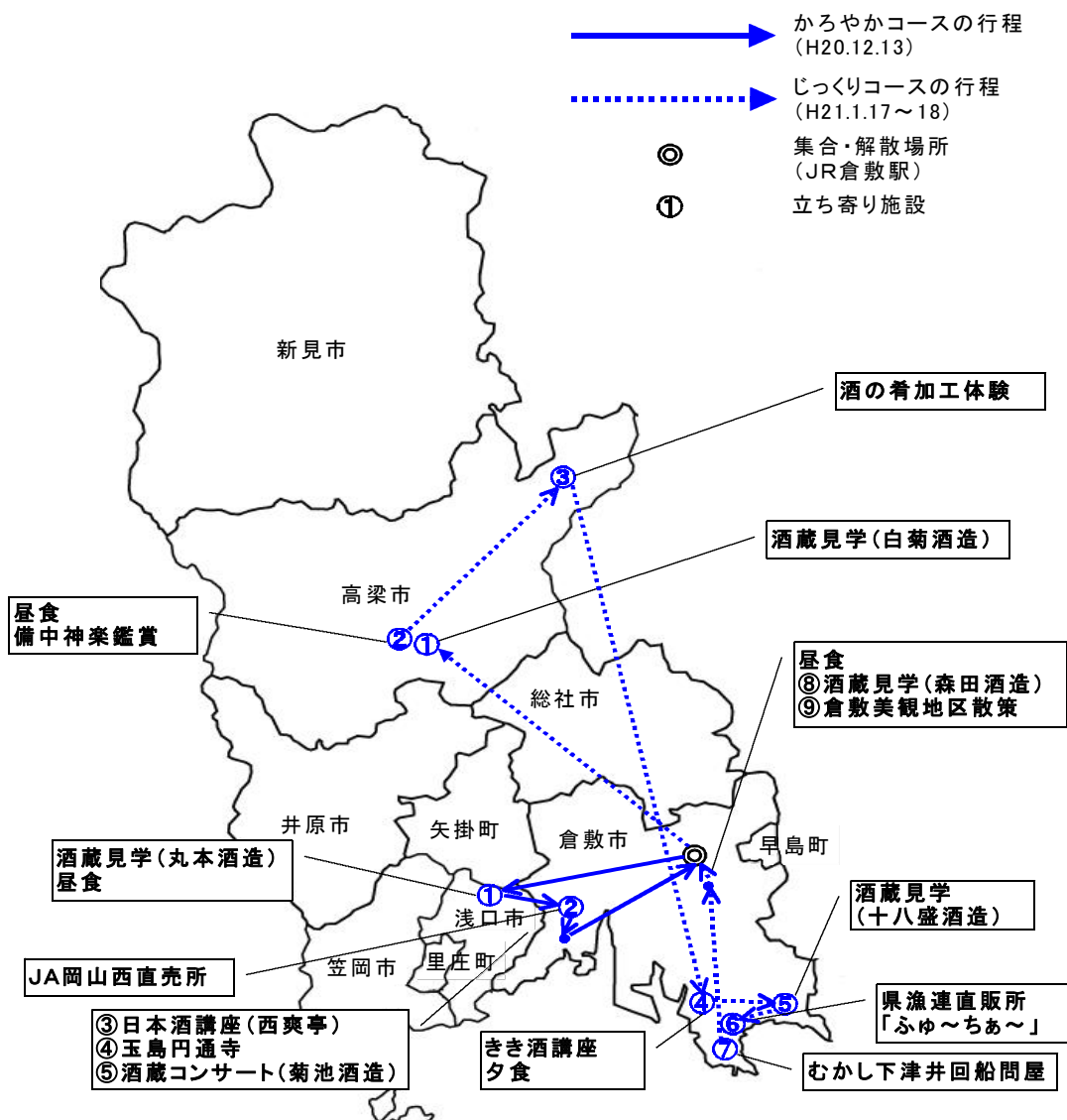
(2) 「じっくり」コース (1泊2日)

①開催日：1月17日(土)～18日(日)

②コース：酒蔵見学(白菊酒造)、備中神楽、酒の肴加工体験(農産工房「蔵里」)
きき酒講座、酒蔵見学(十八盛酒造)、県漁連直販所「ふゆ～ちあ～」
むかし下津井回船問屋、酒蔵見学(森田酒造)、倉敷美観地区散策

③参加者：31人(男性：19人、女性：12人、県内：31人)
(50歳代～60歳代：74%)

「酒蔵めぐり」モニターツアー コース図



経済産業省 備中地域広域観光振興企画「ふるさと」実行委員会

備中地域広域観光振興企画
備中の酒と食の文化をめぐる旅

備中の郷

モニターツアー参加者募集

岡山のはじめ、万葉集「古事記」と刻まれたあまの国。歴史はあかく、
「備中出雲のさかやの酒」は、和歌時代、薩長を結ぶ津路の各所に産ぶ酒が
知られることとなり、各地で醸造するようになりし。現在でも、各地の酒蔵の
現在でも、各地の酒蔵の文化を継承し入れながら、各地の酒蔵で、その
伝統的な酒造技術を伝えている。

また、備中地域は、良い酒を作る各地、「おひろい」「おひろい」の
三つの要素が揃った環境でもあり、酒造りと食の文化を継承した食蔵
蔵主や、豊かな水産と食育を各農産物の高品質。

備中の個性ある酒づくりの現場と豊かな自然がはぐくんだ伝統的な
食文化を味わってみませんか。

Aコース 「かろやか」コース
日帰り
平成20年 12月13日 土
参加人数 30名 参加費 5,700円

Bコース 「じっくり」コース
1泊2日
平成21年 1月17日 土～18日 日
参加人数 30名 参加費 19,500円

■主催/水辺のユニオン ■共催/山陽新聞社 ■企画/備中地域広域観光振興協議会 ■協力/岡山酒造協会
■旅行主催/山陽新聞社 ■旅行代理店/山陽新聞社 ■協賛/備中地域広域観光振興協議会 TEL:086-803-8200

自分だけのお気に入りを見つけに出掛けませんか。

Aコース 「かろやか」コース
日帰り
平成20年 12月13日 土
参加人数 30名 参加費 5,700円

Bコース 「じっくり」コース
1泊2日
平成21年 1月17日 土～18日 日
参加人数 30名 参加費 19,500円

行程内容

9:00 【出発】JR倉敷駅

10:00～11:30 酒蔵見学(日本酒蔵) 備中市観光局
★備中地区の酒蔵の歴史と酒造りの文化を学ぶ。

11:30～12:30 昼食(日本酒蔵) 備中市観光局
★備中地区の酒蔵の歴史と酒造りの文化を学ぶ。

13:00～13:20 JA岡山西遊売所 倉敷市玉島

13:45～15:15 日本酒講座(酒蔵) 倉敷市玉島
講師 酒蔵 岡本 一 氏

15:30～16:00 玉島円通寺散策 倉敷市玉島

16:15～18:00 酒蔵コンサート(酒蔵) 倉敷市玉島
★備中地区の酒蔵の歴史と酒造りの文化を学ぶ。

19:00 【到着】JR倉敷駅

お申し込み内容(平日10:00～17:00)

山陽新聞社倉敷本社 広告部 TEL:086-421-5748 備中地域広域観光振興協議会 (事務局/岡山酒造協会)
〒710-0824 倉敷市山陽通5-1-1 FAX:086-430-0026 TEL:086-434-7008
E-mail: kurasaki-ad@sanyo.co.jp E-mail: biho-chisei@pref.okayama.jp FAX:086-426-8906

「酒蔵めぐり」モニターツアー募集チラシ



かろやかコース (日帰り)



じっくりコース (1泊2日)

3 体験・学習観光ガイドブック「備中杜氏の郷」の作製

備中地域への誘客の動機付けを図るため、備中杜氏で名を馳せ、古くから備中地域で行われてきた酒造りを歴史的観点や地域の食との関係など様々な観点から紹介した体験・学習観光ガイドブック「備中杜氏の郷」(A5版、全カラー22頁)を1万部作製し、管内の市役所、町役場、観光協会、観光案内所等に配布した。

4 歴史・文化シンポジウム「備中杜氏今昔物語」の開催

(1) 日 時：平成21年2月15日(日) 13:00～16:00

(2) 場 所：倉敷国際ホテル

(3) 参加者：250人

(4) 内 容

①基調講演「酒の日本文化と岡山の酒造り」 講師：神崎 宣武氏(民俗学者)

②パネルディスカッション「備中の酒蔵から。新たなお酒文化の発信」

・パネリスト：渡辺 醇造氏(岡山県酒造組合副会長、白菊酒造株式会社取締役会長)

菊池 東氏(備中杜氏、菊池酒造株式会社 代表取締役)

加藤せい子氏(NPO 法人吉備野工房ちみち 代表理事)

森 喬氏(備中地域広域観光振興協議会 会長)

・コーディネーター：鳥越 良光氏(岡山商科大学大学院 教授)



基調講演



パネルディスカッション

成果・効果

- 1 広域観光モデルコース「鉄の径」について、民間旅行事業者による運行をすることができ、旅行商品化の第一歩とすることができた。
- 2 備中地域での酒造りの歴史や文化、地域の食との関係をテーマとした産業・学習観光の広域観光モデルコース「酒蔵めぐり」を新たに造成し、情報発信(ツアー運行、ガイドブックの作製)することができた。
- 3 産学官の協働により、備中地域の歴史、文化、伝統等の地域資源をつなぐ、地域固有のストーリー性を持った学習・体験型、交流型の広域観光コース「鉄の径」及び「酒蔵めぐり」を情報発信することによって、交流人口の増大による地域活性化に繋がることができた。
- 4 歴史・文化シンポジウムの開催により、地酒を通して備中地域の歴史・文化を多くの人に知ってもらうとともに、地域資源の活用について考えるきっかけづくりを行った。